

# 秋田内陸線車内展 十人十色

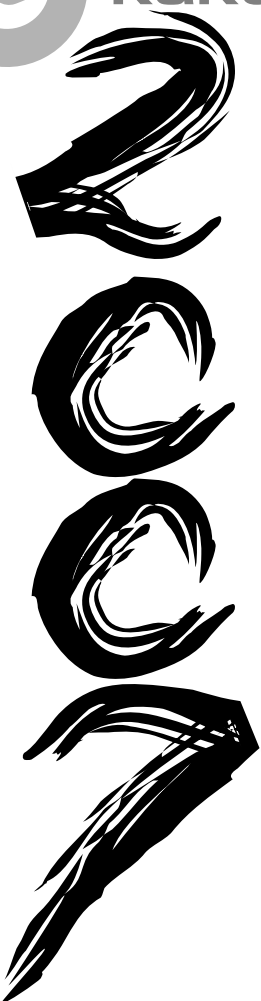
takanosu

akitanailikusen

東北各地のデザイナーが発信する「いのち」についての、ささやかなメッセージ。心地よい列車に揺られ、時の流れをゆつくりと感じながら、じっくりとご覧頂きたい。ちよつと変わった展覧会です。

kakunodate

i  
n  
T  
O  
H  
O  
K  
U



主催：社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 秋田地区  
協力：秋田内陸縦貫鉄道株式会社

後援：  
秋田県、仙北市、北秋田市、秋田県教育委員会、仙北市教育委員会、北秋田市教育委員会、社団法人秋田県芸術文化協会、財団法人秋田学術振興財団、秋田魁新報社、北鹿新聞社、河北新報社、A B S 秋田放送、A K T 秋田テレビ、A A B 秋田朝日放送、NHK 秋田放送局、エフエム秋田、秋田公立美術工芸短期大学、仙北市商工会、秋田内陸線再生支援協議会、角館町観光協会、社団法人田沢湖観光協会、西木観光協会、N P O きたうら、N P O 立町商店会(順不同/マーク・ロゴタイプ・敬称略)

**展覧会場：秋田内陸線普通列車各車輻内**  
**展示期間：10月15日(月)～11月15日(木)まで**

## テーマ「いのち」

展覧会の会場となる秋田内陸縦貫鉄道の列車を、日常の生活を送るための生命線としている地域の人々も多い、いわば暮らすための「いのち」の絆がこの列車といえるでしょう。

また、昨今の秋田県や東北各地でもには「いのち」に関わる事象やニュースが目立つようになってきました。さらに、価値観の多様化で「いのち」あるいは「いのちより大切なもの」という概念も広がってきた感があります。

今回は、時代の流れに押しながされまいと踏ん張りながら暮らしの「いのち」を繋ぎ続ける列車を舞台に、十人十色の捉え方で、広大な価値観をひめたフシギなキーワード「いのち」について考えてみたいと思います。

※実施要項等の内容については9月15日現在において企画進行中ですので開催時に一部変更となる場合もありますのでご了承ください。